

**今日のトピック 2023年8月の注目イベント**
**ジャクソンホール会議でパウエルFRB議長は何を語るか**

- 8月は日米欧の中央銀行の金融政策会合はありませんが、各国の中央銀行トップや経済学者らが参加する経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」が、24日～26日に米ワイオミング州で開かれます。米連邦準備制度理事会（FRB）は7月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利を0.25%引き上げ、追加利上げにも含みを残しました。今回のFRBの利上げサイクルは終盤に近づきつつあるとみられるなか、今後の金融政策を占うカギとなる、「ジャクソンホール会議」でのパウエルFRB議長の発言が、最大の注目点です。
- パウエル議長は、金融政策判断について、すべては「データ次第」との姿勢を続けています。このため経済指標では、米国の雇用統計や消費者物価指数（CPI）、個人消費支出（PCE）デフレーターが、今後の市場動向を占う上で重要な指標となりそうです。
- また、中国の経済指標では、景気の回復ペースが鈍化している中国経済を見通す上で、15日の小売売上高や鉱工業生産、固定資産投資が注目されます。

**【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2023年8月）】**

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:7月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 3日:7月ISM非製造業景況指数 <b>4日:7月雇用統計</b> 8日:6月貿易収支 <b>10日:7月CPI</b>	<b>3日:イングランド銀行金融政策委員会</b> 4日:ユーロ圏6月小売売上高	1日:豪州金融政策決定会合、中国7月財新製造業PMI 2日:ブラジル金融政策決定会合 3日:中国7月財新非製造業PMI 8日:中国7月貿易収支 9日:中国7月CPI、7月PPI 10日:インド金融政策決定会合	1日:6月失業率、6月有効求人倍率 7日:6月景気動向指数 8日:6月家計調査、6月毎月勤労統計、6月国際収支、7月景気ウォッチャー調査 10日:7月企業物価指数
11日:7月生産者物価指数(PPI)、8月ミシガン大学消費者センチメント指数 15日:7月小売売上高 16日:FOMC議事要旨、7月鉱工業生産	11日:イギリス4-6月期GDP 16日:ユーロ圏6月鉱工業生産、イギリス7月CPI 17日:ユーロ圏6月貿易収支	<b>15日:中国7月小売売上高、7月鉱工業生産、7月固定資産投資</b> 17日:豪州7月雇用統計	15日:4-6月期GDP 17日:6月機械受注 <b>18日:7月全国CPI</b>
23日:8月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 24日:7月耐久財受注 <b>24～26日:ジャクソンホール会議</b> 29日:6月S&Pコアプロシク・ケースシラー住宅価格指数、8月コンファレンスボード消費者信頼感指数 <b>31日:7月個人所得、7月PCE、7月PCEデフレーター</b>	23日:ユーロ圏8月PMI、ユーロ圏8月消費者信頼感指数 25日:ドイツ8月IFO企業景況感指数 <b>31日:ユーロ圏8月CPI</b>	24日:トルコ金融政策決定会合 31日:中国8月製造業・非製造業PMI、インド4-6月期GDP	25日:7月企業向けサービス価格指数、8月東京都区部CPI 29日:7月失業率、7月有効求人倍率 31日:7月小売業販売額、7月鉱工業生産、7月住宅着工件数

(注) 2023年7月26日現在。日付は現地時間。(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト  
石井康之 (いしい やすゆき)

**ここもチェック!** 2023年6月28日 2023年7月の注目イベント  
2023年5月26日 2023年6月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。